

⑧ 山梨県で戦後最も早く発掘調査が行われた遺跡

山梨県で戦後最も早く発掘調査が行



⑧ 連方屋敷

南北朝時代から室町時代中期に造られた、この地域の権力者の屋敷跡。清白寺の近くにあり、同時期に存在したことから、関係性が推測される。県史跡。

⑨ 西田遺跡

3〜4世紀の集落跡。方形周溝墓が見つかった。【所】展 考古博



⑨ 和歌刻書土器

⑩ 荒神山窯跡

全国的に例が少ない平安時代末期の窯跡。土師器を焼いていた。【所】山梨市



⑩ 記念碑

われた遺跡。平安時代の集落跡で、出土した土師器は考古学研究に大きな影響を与えた。【所】山梨市

⑪ 窪八幡神社

平安時代中期から末期にかけての大型集落跡。住居を造る前に行う地鎮の痕跡が確認された。【所】展 考古博

⑫ ナウマンゾウ臼歯・骨

平安時代から続く神社で、建物の多くが武田信虎・信玄によって造られた。本殿、拜殿、鳥居などが、重要な文化財。境内は山梨市史跡。



⑫ ナウマンゾウ臼歯・骨



⑬ 深鉢形土器  
Photo by T.Ogawa

⑭ 上コブケ遺跡

縄文時代中期の集落跡。縄文土器に描かれたウサギとヘビのような文様はとてもシュール。【所】展 考古博



⑭ 窪八幡神社

⑮ 旧石器時代のナウマンゾウの臼歯や骨

旧石器時代のナウマンゾウの臼歯や骨、大型のシカの化石が見つかった。化石は県天然記念物。【所】山梨市